



Bitcoin Japan 株式会社

Business Purpose Expansion

2025

免責事項

本資料は、Bitcoin Japan株式会社（以下「当社」）の臨時株主総会のみを目的として作成されたものです。本資料は、当社の事業目的の拡大に関する提案内容を説明するものであり、現在のきもの事業、ファッション事業、その他の既存の事業運営とは関係せず、また、それらを反映するものではありません。本資料は、いかなる法域においても、当社の証券の販売の申込み、または購入の勧誘を構成するものではなく、そのように解釈されるべきものではありません。

本資料は、いかなる法域においても販売促進活動、広報活動またはマーケティング活動を構成するものではありません。

本資料の内容は、当社の事業戦略および事業計画に限定されます。

本資料の内容は、2025年11月11日時点で入手可能な情報に基づいており、その後の変更や新たな事象を反映した修正・更新は行われておりません。本資料は、当社の証券に関する投資判断の根拠として使用されるべきものではありません。

本資料には、当社の事業戦略、計画、財務予測および目標に関する将来予想に関する記述が含まれています。これらの記述は、当社が合理的であると考える前提や期待に基づいていますが、リスクや不確実性を内包しており、実際の結果、業績または達成状況は、明示または默示された内容と大きく異なる可能性があります。これらのリスクには、市場環境、ビットコイン価格、為替相場、金利、規制の動向、経済・政治情勢の変化、サイバーセキュリティリスク、その他当社の支配が及ばない要因が含まれます。

当社は、本資料に含まれる情報の正確性、完全性、または継続的な有効性について何ら保証するものではなく、適用法令に基づき必要とされる場合を除き、将来予想に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。いかなる計画、目標、予測または将来予想に関する記述も、その実現が保証されるものではありません。

過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。ビットコイン価格は極めて変動性が高く、予測困難です。また、本資料の一部には、信頼できると考えられる第三者情報が含まれていますが、その正確性または完全性について当社は保証いたしません。



1. 経営基本方針

透明性と長期的視点の追求

ビジョン AIとビットコイン経済を支える力へ

AIコンピュート × ビットコインリザーブ

— AI時代の“知能”と“信頼”を支える基盤を創る。

Bitcoin Japan 株式会社（東証：8105）は、
AIインフラへの戦略的投資と、ビットコインを基軸とした
財務基盤の構築を通じて、「インテリジェンス経済」における
日本のリーダーシップを築くことを目指しています。



リーダーシップチーム



フィリップ・ロード

代表取締役社長 (CEO)

フィンテックおよびデジタル資産の
分野でグローバル展開を牽引。



栗津信哉

取締役 兼 (COO)

取締役会



アクシャイ・ナヘタ
取締役会長



勝浦 敦嗣
社外取締役



伊井 三喜男
取締役 (常勤監査等
委員)



大村 安孝
社外取締役 (監査等委員)



小野 聰
社外取締役 (監査等委員)



経営方針

エネルギーを蓄え、AIの時代を動かす

提供価値(Value Proposition) :

世界の電力供給能力を、AI需要が急速に上回りつつある。
その構造的な変化こそ、私たちが価値を生み出す原点です。

Bitcoin Japan株式会社は、3つのメガトレンドを融合させます



1-AIインフラ

高性能コンピューティングおよび
ユーティリティ資産の取得・構築

目標年間投資リターン：12.5%以上



2-ビットコイン・トレジャリー

インフレ対策となる戦略的リザーブ資産
の構築

ビットコイン貸出運用による目標利回り：
年率2.5%以上

**当社は、AIの時代において
"エネルギーを創り、蓄える企業"となることを目指します。**



3-透明性

日本上場企業としての信頼性と
グローバル基準に適合した資本構成
堀田丸正株式会社の164年の歴史を継承



マクロ視点: なぜ今なのか

世界の潮流:

AI関連投資はすでに1兆ドルを超え、
「電力」と「コンピューティング・ユーティリティ」の
不足が世界的な課題。

日本の優位性 :

明確な規制環境、
多様化したエネルギー構造、
そして世界資本へのアクセス。

当社のポジション :

長期的な企業価値の向上と
卓越した事業運営を支える安定した資本パートナー。



2. 統合戦略:

500MW構想

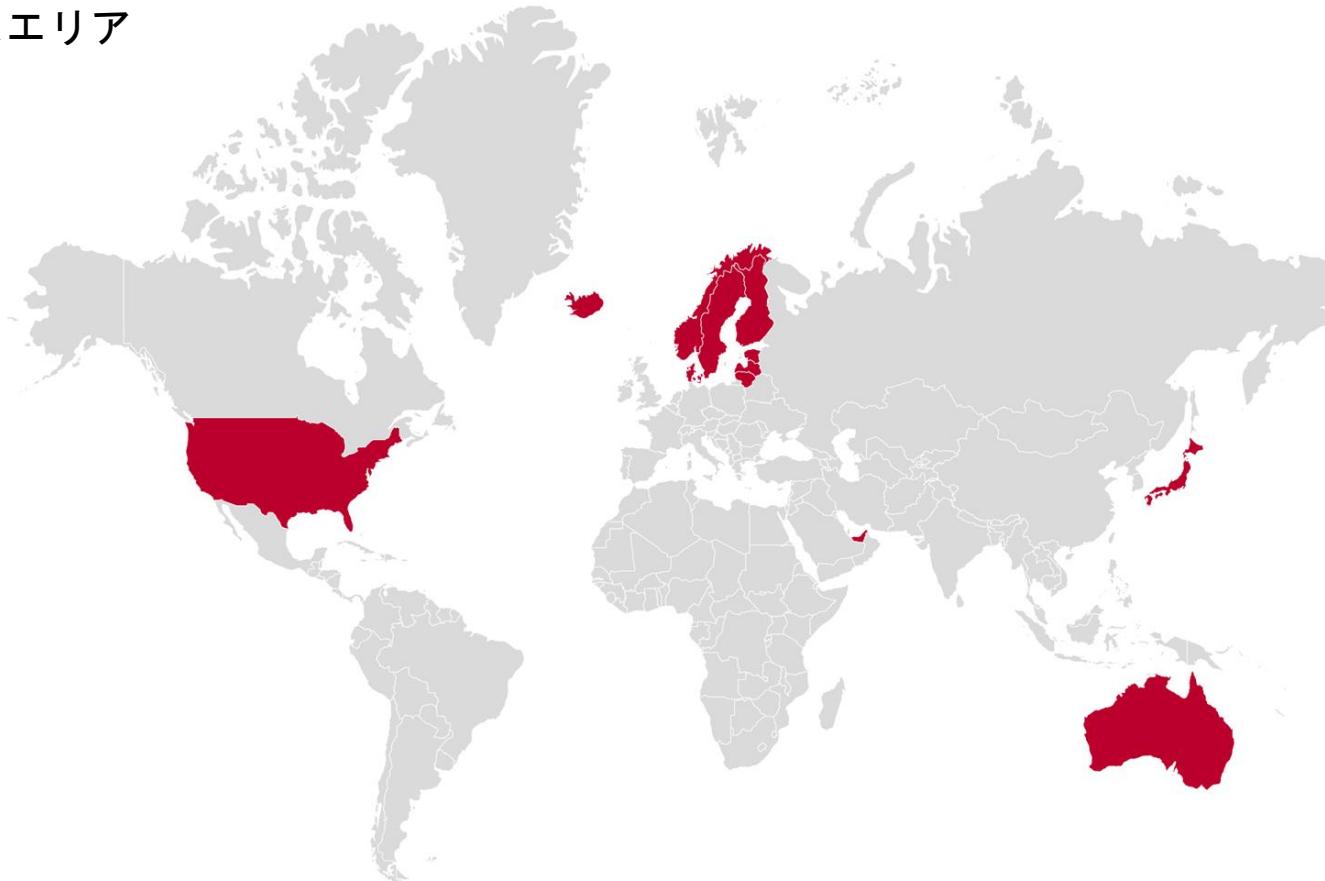
The 500 MW Power Vision by 2030

戦略的フォーカス：
電力および土地を確保した
グローバルオペレーターとの連携。

企業アイデンティティ：
AI時代における安定収益を生み出す
コンピューティング・ユーティリティ企業。

投資利回り目標：年率12.5%以上

フォーカスエリア



米国的主要電力供給ルート



フォーカス：

低コスト発電地域（テキサス州・オハイオ州）での
即時着工可能な大型MWの拡張

志向：

公共および民間の両市場において、
信頼性の高いパートナーと共に大規模投資を実施

日本主導のデジタルネットワーク

フォーカス：

東京湾岸エリアおよび地方エネルギーハブにおける
高可用性サイト

志向：

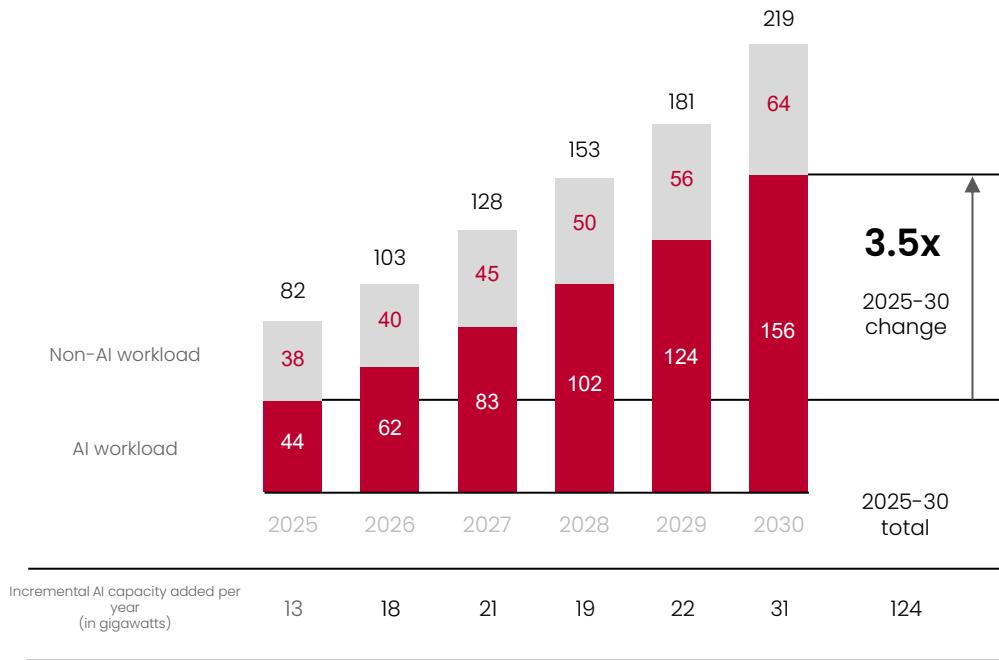
信頼性の高い電力を備えた既存の産業施設を
インテリジェンスセンターに転換するための投資

AIコンピュートの機会

世界データセンター容量需要予測：継続成長シナリオ

156GW

2030年までに6.7兆ドルの投資が必要



AI × ビットコインの融合

AIコンピュート：

エネルギー → 知能 · 希少GPU · 認知需要による駆動・推進

シナジー：

ビットコイントレジャリーが、
AI基盤インフラのリザーブ資産および
マネタイズ層として機能。

ビットコイン コンピュート：

エネルギー → デジタル価値 · 希少コイン · 信頼需要による駆動



ビットコイントレジャリー・ポリシー (リザーブ戦略)

ポリシー :	ガバナンス :	目的 :
企業バランスシートにおける BTC(ビットコイン)の戦略的かつ 動的な配分を維持。	トレジャリー委員会を設置し、 運用サイクルおよび市場の変化に 応じてエクスポージャーを調整。	グローバルWeb3エコシステムに おける流動性、インフレ対策、 戦略的投資。



3. ビットコイントレジャリー収益モデル：

運用モデルおよび配当方針



リザーブ資産を収益に転換

保有するBTC(ビットコイン)の一部を規制されたレンディングおよびレポ市場に運用し、安全かつ安定的な利回りを創出する。

得られた収益は、事業拡大と株主還元の両立に活用。

ビットコイン貸出運用による目標利回り：年率2.5%以上

戦略的意義：

Bitcoin Japan株式会社は、
次の要素を融合した初の上場企業：

規制に準拠したビットコインレンディング事業

1%超の持続的な配当方針

ビットコイン蓄積によるトレジャリー価値の向上



成果：

継続的な利息収益

+

キャピタルゲイン

＝

二重収益モデル

配当コミットメント

規律がある**利回り支援型の株主方針**を確立

長期的なビットコイン蓄積と持続的な配当を両立し、
機関投資家からの信頼と日本市場の基準との適合を強化



ビジョン 2030

Bitcoin Japan株式会社は、
ビットコインを裏付けとしたリザーブ資産を基盤に、
企業およびプロジェクトへの多層的な資本投資を通じて、
500MWを越えるAIコンピューティング基盤の構築に参画し、
株主の皆さんに安定した年間配当利回りをお届けできる企業へと成長してまいります。



ご清覧ありがとうございました。

2025